

# 撮録する

## セナが作り出した インターコムカメラ



### SENA PRISM

価格:5万9832円  
発売時期:2015年春  
サイズ:横63×縦44×奥行23mm  
本体重量:100g バッテリー重量:25g  
録画時間:約2時間  
(Bluetoothを正常に受信できる  
静止状態での平均時間)  
外部出力:マイクロHDMI  
バッテリー充電時間:3.5時間  
Bluetoothプロファイル:HSP、HFP、  
AVRCP

3.5メガピクセルのCMOSセンサーに明るいF2.0のレンズを組合せた車載カメラ。インターコムとBluetoothで接続することで、会話を録音したり、インターコムからカメラの遠隔操作ができる。専用アプリもリリース



ツーリング後の楽しみがまたひとつ加わった

インターコムのブランドとしてお馴染みのセナ。これまでも画期的なインターコムを次々とリリースし、最新モデルの20Sではデュアルモジュールを搭載し、オーディオマルチタスクやボイスコマンドといった、エポックな機能を実現している。

そんなインターコムの中でも一歩先を進むセナが車載カメラを発売した「プリズム」と名付けられたこのカメラは、本格的な撮影機能を備えているのはもちろん、Bluetoothでインターコムと接続して使えるというインターコムカメラ。注目はカメラの映像にインターコムのマイクを通した声やインターコム通話の会話を重ねて録音できる機能だ。これまでのツーリングの景色を撮って自分で見る、公開するという使い方で、後で仲間と声入りのムービーを見て楽しむという「記憶を共有する」という要素が加わる。

インターコムの登場で、仲間と会話しながら走るという、ツーリングの楽しみが増えたというのもはや多くのライダーの知っている。プリズムはそんなときのツーリングスタイルに、またひとつ新しい遊び方を加えてくれるのだ。

## カメラとしての機能も超ハイスペック

実物大



本体は並型マッチ箱を2回りほど大きくしたサイズ。非対称デザインで右側にLCDディスプレイを備えている

プリズムはフルHD画質の動画が撮影できる本格的な車載カメラだ。撮像素子には3.5メガピクセルのCMOSセンサーを搭載し、レンズはF2.0という非常に明るいものを採用するなど、カメラとしての性能は申し分ない。

スクエアな本体は非常にコンパクトで、右側面に液晶ディスプレイを備えた左右非対称デザインが特徴。これはプリズムをヘルメットに取付ける際、セナのインターコムをヘルメットの左側に装着することを強く意識したデザインだ。操作は上面のS（撮影）とM（モード）の2つのボタンだけとシンプルだが、ディスプレイで現在の状態が一目で分かるため、すぐに操作に慣れることができる使い勝手のよさを持っている。



### 専用ハウジングを使えば 水深40mまで対応の防水仕様

本体は防水仕様となっていないが、専用の防水ハウジングを同梱。水深40mまで対応しており、雨程度ならまったく問題なく使える。また、同梱のスケルトンバックドアに交換すれば、ハウジングに入れた状態で電源を供給したり、HDMIポートにケーブルを接続して使う

### カメラの状態が一目で分かるLCDディスプレイ

LCDディスプレイにはカメラモードに撮影画質とフレームレート、撮影ファイルのカウンター、バッテリー残量、メモリ残量、Bluetoothの接続状態を表示。鮮やかなブルーのバックライトを備えたネガ表示なので、強い日差しの下であっても、とても見やすい



### ビデオモード

解像度	1080P
	720P
	480P
フレームレート	30fps (1080P、720P)
	60fps (720p)
	120fps (480p)
画角	広角 (137度)
	標準 (90度)

### 写真モード

シングルショット (写真の撮影)	ショット・ボタンを押すごとに写真が撮れる。解像度は3.2M (4:3)、3.5MP (3:2)、3.0MP / 5.0MP (16:9) から選べる
バーストショット (1秒間に10枚の連続写真撮影)	連写機能で、1回につき3、5、10枚が撮影可能で、解像度は3.2M (4:3)、3.5MP (3:2)、3.0MP (16:9) を用意
タイムラプス (一定間隔で動画または写真は撮影)	一定間隔で撮影した静止画をつなげて動画として記録。撮影間隔は1〜60秒で設定でき、複数の写真としても記録可能



### 操作はわずか2ボタン 整理された後面パネル

上面にはモード切り替えと、撮影開始・停止を行うボタン、録音などの状態を示すLEDが並ぶ。背面の充電ポート付きのハッチを開けると、上から充電用マイクロUSB端子、マイクロSDカードスロット、マイクロHDMI端子が並び、その左には1100mAhのリチウムイオンバッテリーが格納されている